家庭園芸

一日も早く消雪と排水を

雪がようやくとけて地面が顔を出してきました。

冬越畑の野菜は元気でしょうか。

エンドウ、ソラマメ、イチゴ、コマツナ、女池菜、タマネギなど。

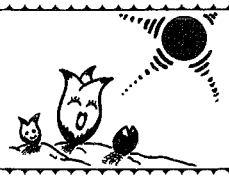
すでに七十日あまりも雪に押され、暗やみと低温に耐えてきたのです。

一日も早く、雪を動かして消雪と排水をはかり、陽光にあてるようにしましょう。

畑は、溝をあけて排水をよくしてやれば、土も早く暖まります。

エンドウの枯れてしまったものは消雪後、早目に種子をまき直し、乾いた土で一握りくらいずつ覆土します。

風の強い所では、株元に薄い液肥をほどこしましょう。



ご相談は園芸センター（☎86—1034）へ。月曜日は休園です。

全市一せいネズミ駆除運動

18,817匹を捕獲

昨年十二月十日から十二月十日までと今年二月一日から十五日までの二回にわたって行われた全市一せいネズミ駆除運動は、一万八千八百十七匹を捕獲して終わりました。

近年捕獲数が減る傾向にある中で、今年度は前年度と比べて若干増えています。

市民の中では「最近、ネズミが増えてきているのは」—との声も聞かれます。

ネズミをなくするには、駆除のほかに、食物を与えないこと（食物を放置しない、台所のゴミはふたの完全な容器に入れる）、ネズミの住居をなくすること（天井裏、押入、物置、倉庫、床下などを整とんして巣を作らせない）を注意することが必要です。

団体、個人、大物賞の結果は次のとおりです。

〈組織の部—市街地域〉

▼一位 笹口一丁目自治会

▼二位 内野地区衛生組合内野一番町支部、有楽二丁目自治会、沼垂第五区町内会衛生部

〈組織の部—農家地域〉

▼一位 中野小屋地区衛生組合前野外新田支部

▼二位 赤塚地区衛生組合藤蔵新田支部、大江山地区衛生組合笹山支部、曽野木地区衛生組合嘉木班

〈個人の部—市街地域〉

▼一位 中村実（内野）

▼二位 布施巳（臨港一）

横山モト（三和町）小泉仁作（笹口）

〈個人の部—農家地域〉

▼一位 渡辺五十一（前野外新田）

▼二位 小菅米吉（嘉木）

広沢ハツ（明田）高橋賢吉（津島屋第一）

〈大物賞〉

▼一位 桑野藤吉（大形）

二位 大沢勝衛（大江山）

三位 高橋熊五郎（大形）

（敬称略）

施設整備に二百五十万円を寄付

去る、三月十一日、新潟地区労働組合協議会（斉藤登平議長）は、心身障害児「もぐらの家」と「社会福祉センター」の施設整備に使ってもらいたいと、組合員からの善意の募金二百五十一万円余を、市社会福祉協議会を通じて寄付しました。

市社協では、募金の大半を「千草の舎」と「もぐらの家」の施設整備の資金として、両施設を訪問して贈ることにしています。

下水道問題 ④

人間都市への道

それでは、下水道の建設や管理に要する財源はどこから求めているのかをご説明します。

下水道の建設財源を分類しますと①国費②起債③受益者負担金それに、④それぞれ地方自治体の一般財源に分けられます。

まず、①国庫補助金（国費）ですが、公共下水道をつくるとき、国費の補助対象となる施設とならない施設があります。後者のおもなものとしては、枝線の管きょ、処理場の門かなどがあげられます。

公共下水道で四十六パーセント

国庫補助金は、処理場費、管きょ費、公共下水道、流域下水道など事業の内容によって補助率が異なり、十分の六から四分の三の率で交付されます。公共下水道事業全体に対してみますと約四六㌫にしかなりません。

次に、②債起ですが、これは建設費を確保するために市がおこなう借金のことで、借り入れ先のほとんどは低利で償還期限の長い政府資金となりますが、一部は市中銀行などから借りなければならないこともあります。

使用料は維持管理費に

③受益者負担金、これは下水道が整備されることによって利益を受ける土地の所有者に下水道建設費の一部を負担していただくものです。

新潟市では昭和四十四年度から船見処理区で、この制度を実施しました。

制度の内容は、所有している土地一平方㍍当り百二十二円五十一銭（坪当り約四百円）の単位負担額で算定された金額を二か年に分け、さらに一年度を四期に分けて納入していただくというものです。

この制度に対する同区の皆さんの理解の下、船見処理区は計画どおり整備が進みました。

この受益者負担金は、船見処理区の整備費の約一〇㌫にあたります。

④一般財源については、市税や都市計画税、地方交付税などで構成されている自治体の一般会計からのものです。

一方、下水道の維持管理費の財源ですが、管理費は雨水の排除で必要とする分と汚水の排除処理に要する分とにわけられます。

前者は、公費負担で一般財源を充て、後者には私費負担として下水道使用料でまかなうことが原則となっています。

この受益者負担金は、船見処理区の整備費の約一〇㌫にあたります。

④一般財源については、市税や都市計画税、地方交付税などで構成されている自治体の一般会計からのものです。

一方、下水道の維持管理費の財源ですが、管理費は雨水の排除で必要とする分と汚水の排除処理に要する分とにわけられます。

前者は、公費負担で一般財源を充て、後者には私費負担として下水道使用料でまかなうことが原則となっています。

低い国の投資額

負担率を高める必要が

国の大幅な投資を

下水道事業の財源がどのようになっているか、ご理解いただけたと思います。

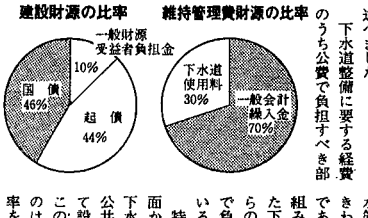
このような財源のしくみのもと、事業を進めているわけですが、問題点は少くありません。財源的に見た問題点を考えてみましょう。

経済発展に伴う企業活動、私たちの生活様式の変化がもたらした下水道の役割はきわめて重要となり、下水道の整備は急がなければならないことは、前にも述べました。

下水道整備に要する経費のうち公費で負担すべき部分は、国費と地方自治体のお金で負担するわけですが、この公費の負担の割り合いに問題があるといえます。

下水道の恩恵は住民平等に受けるものであるうえ、環境衛生面、川や海など公共水域の水質を守るという水管理体系の一環として、きわめて基幹的な公共施設であり、もともと国の取り組みの遅れから整備の遅れた下水道……など、これらの事情からしても、国費で負担すべき部分が増えていると考えられます。

特に、水質を守るという面からその根幹となる流域下水道の整備については、公共下水道の整備に先立って設ける必要のあるもので、このような先行投資的なものは、より国費による負担率を高める必要があると考えられます。



にいがたむかしかわらばん

華麗な変身 西堀の今昔

いまはなき西堀の水。

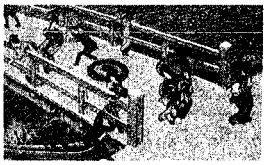
その起源は、はっきりしないが、江戸時代初期の港湾都市建設の過程でつくられたものという。元禄十一年（一六九八）というと赤穂義士の討入れ数年前、沼垂町会所で作成された絵図（郷土資料館展示資料）には、すでに西堀と東堀が南北に流れ、それと東西に交わって横町堀、新津屋小路、広小路堀、御祭堀の五つの堀が完成していた。江戸時代の西堀は、西堀通りを寺町とよんでいたことから寺町堀とよばれていた。西堀とよばれるようになったのは明治五年（一八七二）の町名整理からである。江戸時代から明治にかけての堀は、市中の生活物資を運搬する水路、防火用水として重要な役割を果たしてきた。付近の住民は、この川で米をとぎ、洗たくもしていた。西堀通りは、寺町の名が示すように江戸時代から数多くの寺が軒をつらね、その向いの西堀前通は、昼間から三味線の音が聞える花街でもあった。

西堀の柳並木は正徳年間（一八世紀のはじめ）に植えられたのが起源。

幕末に新潟の地を踏んだ頼三樹三郎、清川八郎など勤王の志士はいちように西堀の柳をめでている。

しかし、大正時代、大河津分水の完成によって堀は浅くなり、さらに戦後の地盤沈下でドブ川と化し、昭和三十九年の新潟国体を機にとうとう姿を消した。現在は、自動車ひしめく幹線道路、昭和五十一年十月には、西堀再開発として、その地下にご承知、西堀ローサと名づける商店街が完成した。これこそ、華麗な変身とでもいうか。

（新潟市郷土資料館）



明治のころの西堀（図・鍋谷白洋）

新潟特産漆器優秀作品コンクールと即売会

期限 3月22日まで
会場 大和新潟店 6階ギャラリー
主催 市漆器同業組合

3月25日は電気記念日

この日を記念して電気器具の実費修理サービスと花の鉢植原価即売会を行います。

日時 3月25日 午前10時～午後4時
会場 東北電力グリーンプラザ（上大川前通5）
主催 県電気PR協議会

県営藤見町住宅入居者募集

資格 同居親族があること。収入基準額が47,000円以上81,000円以下であること。
住宅 鉄筋4階建（6、4.5、3畳、浴室）16戸、家賃は月額14,400円の予定
申し込み 4月1日～7日までに県庁建築住宅課（☎23—5511番）へ

角笛シルエット劇場〝おばけリンゴ〟

日時 4月1日(金) ▶1回目：午後1時半（開場：午後1時）▶2回目：午後6時半（開場：午後6時）
会場 県民会館大ホール
料金 一般 1,800円
入場券 各プレイガイドに
連絡先 新潟おやこ劇場（市内東中通り1～83～56、☎28—9850番）へ。

新潟東少年少女合唱団発表会

日時 3月26日 午後1時半～3時半
会場 市公会堂
曲目 さあ太陽を呼んでこい、アイヌに捧げる小さなレクイエム、祭と子どもも
指揮 栗原昭、河村恭子、相川高子
友情出演 中野山小学校コーラスクラブ
賛助出演 石山グリーンコーラス
入場料 無料

住宅建設の公的資金融資制度説明会

日時 3月23日 午後1時半～4時半
会場 中央公民館5階大ホール
内容 個人住宅建設及び改良資金貸付け分譲住宅貸付けなどについて

初級ロシア語講座

期間 4月12日～6月28日 毎週火・金曜日 午後6時～8時
会場 福祉センター6階（新潟駅前）
受講料 全期間 7,000円
テキスト代 1,000円
申し込み 日ソ協会新潟支部（住吉町2591、第四銀行住吉町支店前☎22—7870番）に氏名、生年月日、年令、性別、現住所、勤務先（学生は学校名、学年、学部）、電話番号を記入し、受講料、テキスト代を同封し送付されるか、直接支部事務所へお申し込みください。
受け付け 3月26日～4月6日（日曜日を除く）毎日正午から午後6時まで
定員 50人